

米国北西部 サクランボは国内販売に十分な量が準備完了

[FreshFruitPortal](#) 2025年5月30日

慣行栽培及び有機栽培のリンゴ、ナシ、サクランボの栽培、販売、品種開発を行うハニーベアブランド社は、北西部(ワシントン州等)の果樹園のサクランボを米国内のスーパーマーケットで販売する準備ができていると発表した。同社はリリースで、この生育シーズンには人気の高いこの果実が豊富に生産されており、小売業者は消費者に甘くて健康的な旬の果実の販売促進を行う絶好の立場にあるとしている。

産地では、最も早い収穫から最も遅い収穫まで十分な広がりが見られ、これによって北西部のサクランボの収穫はうまく均一に分散する。

同社は、「梱包処理能力を強化したおかげで、小売業者の注文に応じた梱包形態に対応し、可能な限り新鮮な果実を大量に提供できる」としている。

同社の営業販売担当副社長であるチャック・シンクス氏は、「弊社は今シーズンも、強力な販促キャンペーンに支えられ、約束どおり最高級のサクランボの食体験をお届けする。ワシントン州パテロス市にある弊社のサクランボ出荷ラインに新たに提携したスターランチ社のウェナチー市の施設が加わって処理能力が向上し、これによって小売パートナーが消費者に最高級のサクランボの食体験を提供することが可能になる」と話す。

同氏は、「サクランボの販売は、夏の青果物の販売を成功させる上で重要である。我々は、小売業者が夏のサクランボの販売で利益を上げ、青果物売り場が確実に成功するよう可能な限り努力する」と付け加えた。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

米国カリフォルニア州 生食用ブドウ委員会が収穫開始を発表

[The Grape Reporter](#) 2025年5月30日

カリフォルニア州南部のコーチェラバレー地域で5月中旬に収穫が始まり、2025-26年度のカリフォルニア州の生食用ブドウの出荷シーズンが正式に進行中である。カリフォルニア州生食用ブドウ委員会(CTGC)は、コーチェラバレー地域でのブドウの収穫は7月中旬まで続き、その後、北部のサンホアキンバレー地域に移動して12月まで収穫を行うと発表した。

同委員会はこの出荷シーズンを支援するため、戦略的に開発された世界的な販売促進キャンペーンを開始した。これは、業界に対してカリフォルニア州産生食用ブドウの貯蔵と販売促進を促し、米国及び21の輸出市場の消費者がより頻繁にカリフォルニア州産のブドウを選択するよう啓発することを目的としている。

このキャンペーンでは小売業者の参加を促進するため、包括的な販促ツールと特典を提供している。これには、デジタルプロモーション、登録栄養士(RD)による小売プログラム、コンテスト、店頭広告(POP)用素材、店頭での試食、目標達成時の追加報酬等である。消費者向けには、複数の小売業者に対応した消費者用アプリへの広告掲出、デジタルクーポンと特典、インフルエンサーとRDのコラボ、及びターゲットを絞ったソーシャルメディア広告(カリフォルニア州産の新鮮なブドウを使ったレシピやスナックのアイデア及び健康上の利点を強調)を取り入れている。

同委員会のイアン・ルメイ会長は、「カリフォルニア州産のブドウは出荷シーズンが長く、夏の祝賀行事から秋の集いまでプロモーションの機会が多くある。世界に通用する魅力と強い需要があり、専任のチームによって実施される戦略的な販促キャンペーンにより、当委員会は今回もまた世界中の市場でカリフォルニア州産生食用ブドウの宣伝を続ける準備が整っている」と述べた。

シーズン中、同委員会の販促チームは商談会や展示会に参加して、業界の関係者との交流を深める。今週は、西海岸農産物展示会に出展している。(出典の詳細省略)